

学校の教育目標

心ゆたかに たくましく生きる子  
よく考える頭 (創造性)  
進んで働く手足 (自主性)  
人もものも大切に作る心 (社会性)

国語科において願う子どもの姿

- (自主性)
  - ・言語に関心を持ち、課題解決に向けて見通しを持って取り組み、自分なりの考えを表現することを楽しもうとする子
- (創造性)
  - ・自分の考えをより効果的に表現する方法を身につけ、表現するよさを感じ取れる子
- (社会性)
  - ・言葉を使って互いのよさを学び合い、自己表現力の高まりを感じ取ることができる子

国語科における子どもの実態

- (自主性)
  - ・課題解決に向けて真面目に取り組むだけでなく、目的意識や見通しを持って取り組む姿がみられるようになってきた。
- (創造性)
  - ・仲間の話を聞く姿勢は高まってきたが、さらに自分の考えを分かりやすく伝える力を高めたい。
- (社会性)
  - ・誰とでも様々な形で意見交流をすることはできるが、その表現のよさを感じ取り、自分の表現の中に取り入れる力を育てたい。

研究主題

感動ある授業を求めて

～個に応じたきめ細かな指導で、学ぶ意欲、

学び方、学び合いを育てることを通じて～

国語科で目指す授業

自分の思いを豊かに持ち、効果的に表現する方法を学ぶ活動を通じて  
伝え合う喜びが持てる授業 ～話すこと・聞くことの領域を通じて～

具体的な手だて

学びたいという意欲(自主性)を育てるために	その子なりの学び方(創造性)を育てるために	仲間との学び合い(社会性)を育てるために
一人一人の子どもが、「話したいな。」 「聞きたいな。」と思えるようにする。	一人一人の子どもが、「上手に話せるようになったな。」 「うまく聞けるようになったな。」と思えるようにする。	一人一人の子どもが、「こうやって話せばいいんだな。」 「今度はあんな話し方をしてみたいな。」と思えるようにする。
【研究内容1】 一人一人の子どもが、目的意識を持ち続けることができる、 <b>評価の在り方。</b>	【研究内容2】 一人一人の子どもが、自分なりの方法で課題を解決することができる、 <b>個に応じた指導・援助の在り方。</b>	【研究内容3】 一人一人の子どもが、自分の見方や考え、技能を高めることができる、 <b>学習集団の在り方。</b>
○一人一人の子どもの意欲につながる自己評価を具体化する。 ○一人一人の子ども <b>の特性をつかむ教師の評価</b> を具体化する。	○一人一人の子ども <b>の特性に応じた指導・援助</b> を具体化する。 ○一人一人の子ども <b>のつまずきに応じた指導・援助</b> を具体化する。	○一人一人の子ども <b>の目的に応じた小集団づくり</b> を具体化する。 ○一人一人の子ども <b>の見方や考え、技能が高まる学び合いの方法</b> を具体化する。
課題解決に見通しを持たせる <b>評価のあり方</b> 課題つかみの段階で、本時の課題を明確に持たせる自己評価や相互評価を位置付ける。 <b>自己の高まりを感じ取ることができる評価のあり方</b> 終末の段階で、本時のねらいに向けて、気づき・改善の観点 <b>が明確になり、自己の高まりを感じ取ることができる自己評価や相互評価</b> を位置付ける。 ・本時の評価規準に基づいて ・自分の願いやめあてと照らし合わせて ・聞き方・話し方について など <b>本時の願う姿を明確にする個の実態把握</b> 単元の評価規準に関わる話し力・聞く力を継続的に把握し、本時のねらいに向けて、個々の願う姿を明確にする。	単元の指導過程において、評価規準に照らし合わせた手だてを明確にする。 <話材化の段階> 目的・相手意識のはっきりした、話す値打ちのある話材を選定する。 <原稿化の段階> 一人一人の見方・感じ方が豊かに表現できる構成の仕方を指導・援助する。 <音声化の段階> 聞き手に分かりやすく伝わる効果的な話し方を指導する。(視聴覚機器の利用・教材教具の工夫) <発表の段階> 個々の取り組みの様子や変容の様子を価値付ける。話す値打ちや聞く値打ちを考えさせ、そのよさに気づかせる。 <b>見通しがもてない子へのサポート指導</b> 課題つかみの段階での自己・相互評価を手がかりに、課題の明確化と解決方法の選択について指導・援助する。 <b>子ども<b>のつまずきに応じた指導・援助</b></b> 子ども <b>のつまずきを予想し、対応できる場の設定・学習プリント</b> を準備する。記述の様子や活動の様子をもとに指導・援助する。	仲間の表現のよさを学び合う学習の場の位置付け ・本時の課題を明確にする教えあい交流会の位置付け ・仲間の気づき・改善のよさを認め合う確かめ交流会の位置付け (2人組・グループ・全体) <b>聞く観点・話す観点を明確にした話し合い活動の位置付け</b> ・評価規準に照らし合わせて、児童の発言を価値付ける。

国語科の授業において大切にしていること

話しやすい雰囲気作り ・ことば遊び・詩の朗読・群読や口の体操など 学習環境・教室掲示の工夫 教材との出会わせ方の工夫	話し方・聞き取り方・話型の段階的・継続的な指導 子どもの意識の流れに沿った指導計画の作成 子どもの意識に対応できる学習形態の工夫 ・課題別学習・方法別学習など	全員が話す場と交流しあう場の確保 話しやすい机列や場の設定の工夫 意図的指名によって、本時のねらいに向けてより高い価値に気づかせる終末の工夫
---	--	--

